

# がん医療フォーラム 2017



2人に1人がかかるという、がん。  
そんななか、「がんになっても安心して暮らせる社会」をめざして、  
さまざまな取り組みが始まっています。  
「がん患者さんが住み慣れた地域で、在宅で過ごす」  
「がんを経験した方を支える」仕組みづくりに向けて、  
東葛北部地域における情報の共有と連携、  
支援体制の必要性について議論します。  
皆さまのご参加をお待ちしています。

## がん患者さんを地域で支える 市民が望むがん医療と福祉のかたちとは

開催  
日程 2017年 **10月29日(日)**  
**13時-16時** (開場12時30分)

会場 **ザ・クレストホテル柏  
オークルーム**  
(千葉県柏市末広町14-1)

対象 ● がん患者さんとそのご家族、  
がん経験者 (がんサバイバー)  
● 在宅での療養支援について関心のある方  
● 医療従事者、介護福祉関係者、行政担当者 など

参加  
方法 事前申し込みが必要  
FAX、ウェブフォームまたははがきにてお申し込みください。  
申し込み方法の詳細は裏面を参照してください。

定員 **300名** 定員を超過した場合、お申し込みを  
お断りする場合があります  
申し込み期限 **10月25日(水)**

**参加費無料・要事前予約**

### プログラム

開会あいさつ 秋山 浩保 (柏市長)  
辻 哲夫 (正力厚生会理事長)

第1部 シンポジウム **がんとの共生 市民が望む医療・福祉のあり方を考える**

モデレーター 長瀬 慈村 (柏市医師会副会長)  
渡邊 清高 (帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 准教授)

渡邊 清高  
「がん患者さんにご家族を支える情報づくりと地域づくり」

坂本 はと恵 (国立がん研究センター東病院 がん相談支援センター 医療ソーシャルワーカー)  
「がん相談支援センターの立場から 一患者さんの思いと経験をつなぐ」

川口 美喜子 (大妻女子大学家政学部教授 島根大学臨床教授)  
「がん患者さんにご家族の「食べる喜び」を支える」

第2部 フォーラム **がんになっても安心して住み続けることのできるまちづくり**

在宅医・訪問看護・介護福祉・行政・市民参画をテーマとした話題提供と  
ディスカッションを行います。

まとめ・閉会あいさつ



主催：地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクト  
後援：我孫子市、柏市、流山市、野田市、松戸市、我孫子医師会、柏市医師会、流山市医師会、野田市医師会、松戸市医師会  
特別後援：公益財団法人正力厚生会、読売新聞社、ザ・クレストホテル柏